

＜ 国語 ＞ 科 学習シラバス

科 目		論理国語	学年・類型	2 年生・Ⅱ 型	単位数	3 単位	教科書	新編論理国語(大修館書店)		
学習の到達目標			国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。							
評価の観点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現			C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的に考える力・他者に共感する力・想像する力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができる。			言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、他者や社会に対する関心を育むことができる。			論理的な文章を読んだり、論理的に文章を書いたり、論理的に意見を述べたりする活動をととして、積極的に言語感覚を身に付けようとしている。			
評価の方法	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類 ・小テスト ・定期考査			・学習活動における発言内容や態度 ・小テスト ・定期考査			・学習活動への参加姿勢や態度 ・課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容				評 価 の 観 点		
								A	B	C
1 学期	4	○論理と出会う 「論理的な人」とはどういう人か		・「論理的」「非論理的」という言葉の意味を理解した上で、筆者の言う「論理的」とはどういうことかを把握する。 ・筆者が「ことば」をどのようにとらえているのかを本文の叙述にもとづいて理解する。				○		○
	5	○具体と抽象 ウサギの耳はなぜ長い？ 記号的メディアと物理的メディア		・生物の進化のしくみについて、ウサギとキツネの共進化の例をもとに、筆者の考えを理解している。 ・本文が三つの意味段落に分かれることを理解し、各段落の主張部分とその具体例との関係を整理する。 ・語句や表現を理解した上で、本文において具体と抽象の関係を適切に理解する。 ・本文中の具体例をもとに、「記号的メディア」と「物理的メディア」の違いを理解する。				○	○	
	6	○対比をとらえる 対話の精神		・「一方」「両者」など、対比を示す語句や接続表現を理解し、本文において対比の関係や論理展開をとらえる。 ・「対話」「会話」から文化的背景、コミュニケーションのあり方へと進む筆者の論理展開をとらえる。				○	○	
	7	デジタル地図から見える世界		・対比を示す語句や接続表現に注目しながら文章を読み、「紙の地図」と「デジタル地図」の対比の関係をとらえる。 ・対比を示す語句、接続表現を理解し、本文において対比の関係や論理展開を追う手がかりとする。				○	○	○
2 学期	8・9	○主張をつかむ 人工の自然 「考える草」であり続ける		・本文に用いられている科学技術や自然科学に関する語句を正しく理解する。 ・「人工の自然」の意味や、「科学技術教養」の必要性についての筆者の主張を正しく理解する。 ・本文に用いられている情報科学に関する語句や比喩表現を正しく理解する。 ・「デジタル化社会でこそ思考が重要である」という筆者の主張と、その根拠を正しく読み取る。				○	○	
	10	○統計資料を活用する 量の時代から質の時代へ		・本文に用いられている「統計資料のことば」に着目し、本文を理解する。 ・文章の記述と資料の関係を正しく把握し、消費に対する意識がどのように変化してきたかを理解する。				○	○	○
	11	若者の「海外旅行離れ」は本当か		・本文に用いられている「統計資料のことば」に着目し、本文を理解する。 ・文章の記述と資料2との関係を正しく把握し、若者の海外旅行離れが、必ずしも起きているとはいえないことを読み取る。				○		○
	12	○論理的に書く 根拠をふまえて主張を書こう		・小論文では、主張とそれを支える根拠が必要であることを理解する。 ・自分の主張を支えるための適切な根拠を示す。				○	○	○
3 学期	1	○比べて読む 紙の本はなくなるならない		・接続表現や見出し語句に注意しながら、論理の展開をとらえる。 ・電子書籍と紙の本の対比関係に留意しながら、「紙の本はなくなるならない」という筆者の主張と、それを支える根拠のつながりを理解する。				○		○
	2	情報化と紙の本のゆくえ		・論理的な文章で用いられる語句に注意しながら、本文の内容を理解する。 ・SNSや紙の本の形式など、論理展開における具体例の働きに留意しながら、筆者の主張を支える根拠の確かさを検討する。				○	○	○
	3	○レポートを書く レポートをまとめよう		・読者の視点に立ち、読みやすく、わかりやすいレポートの組立て方について考え、理解を深める。 ・読者を意識し、わかりやすい構成や記述を意識して、レポートをまとめる。				○	○	○
学習のポイント		・教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ・ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 ・読む能力を高め、知識を身に付けるための努力をする。								